

Stay Home 2 : コロナ禍で八丈島旅行をキャンセル

R2,7,7 七夕に 御法川齊

コロナ禍に加えて梅雨時で Stay Home を余儀なくされ、團伊玖磨シリーズ No18「よもすがらパイプのけむり」等を読書。コロナ禍では、念願の八丈島旅行を今年こそは実現！と意気込んでいたが4月の2泊3日の旅をキャンセルせざるを得ず誠に残念でした。

ご存知の様に八丈島は團先生の仕事場があった所で、逗子市秋谷の自宅から度々長期滞在し作曲、文筆&趣味の京野菜栽培に勤しんだ場所です。因みに多湿な所、時期が好きだった事でも知られ、普通の人と違い梅雨時には元気が出たそうです。

また何でも徹底的に調べるのが好きで、八丈島に暮らして居たころは島中の植物を知ろうと10年程隈なく調べ歩き、“蒲公英、楓類が無い！”事を発見？したらしい。

「風蘭」のエッセイによると野生ランに20年前から凝った時期有り～雨、風、雪にも負けず無言で生きる姿が好き。風から栄養を採ろうとする、繊細な純白の花弁と甘い上品な香り～との事。時宜を得て偶々、近くの友人が風蘭を育てていて近いうちに貸して貰えることになった。

「小懺悔」によると文春グラヴィアに(最近とみに流行の)「わたしの朝昼晩メシ」が掲載され知人から種々の反応あり。朝から豚の角煮、昼は焼肉鉄板焼き、夜はチキンカツ。鰻丼好きで1度に2～3杯も！。主治医に懺悔したが“あれはグラヴィアでしょう”とそのPR流儀を理解してくれて事なきを得た。

「御節料理」に関して正月を祝う意義が解らず。只1日明けたのみで何故目出度いのか？團家は御節料理を作らず、無論買わず。正月は普通の生活をして、正月過ぎたら空いた温泉地に行く。

===来年、正月に？八丈島に行けるようになることを期待したいが如何に？？===

(写真追加)



7/13 に借用した貴重な風蘭： 将に繊細な純白の花弁と甘い上品な香り